

第40回 兵庫県私立幼稚園PTA大会 2025年度 宝塚大会〈宝塚ベガ・ホール〉

秋晴れの下、11月13日宝塚ベガ・ホールにて、第40回兵庫県私立幼稚園PTA大会が開催されました。1980年に宝塚市立文化施設として開館された歴史あるホールで、舞台正面にパイプオルガン(総本数1468本)を常設し、手割のレンガ壁面が特徴的でまるで欧州の教会のような佇まいの素敵な場所で華やかに行われました。



齋藤知事

兵庫県知事齋藤元彦様、地元宝塚市長森臨太郎様をお招きし、総勢約330名にのぼる保護者の皆様が会場を埋め尽くしました。オープニングにはこの日のために結成された宝塚市私立幼稚園保護者有志のコーラスグループ「SORA」による『ツバメ』の素敵な合唱で、会場が一気に和みました。



コーラスグループ「SORA」

兵庫県私立幼稚園PTA連合会副会長杉原優奈様(慈愛幼稚園保護者)による力強い開会のことばからスタートし、兵庫県私立幼稚園PTA連合会会長宮崎健一様によるご挨拶。日頃のPTA連合会へのご理解とご協力への感謝を述べられ、子育てする大変さの中にも自身の心のケアを忘れずというメッセージを本の一



杉原 PTA副会長



宮崎 PTA会長



山本 PTA顧問

節を読み上げ語られました。その後、兵庫県会議員でPTA連合会顧問の山本敏信様によるご挨拶では、PTAの存在が問われる昨今でも私立幼稚園がこれだけ保護者の方々のご尽力いただいている事の大切さ、子どもたちの成長への影響を鑑みて引き続きご尽力いただきたいとの応援メッセージを賜りました。続いて、兵庫県齋藤知事による祝辞。幼児教育の益々の重要性並びに、子どもたちへの安全安心の環境を担保するべくエアコンや防犯カメラ、水回りなどの工事補助として1.7億円の予算を計上して下さったこと。また、物価高騰対策としてはばたんpayプレミアム商品券の発行など、兵庫県は子育てと若者の支援に今後も力を注ぐ旨を述べられ、改めて幼児教育、子育ての大切さを力強く発信して下さいました。続いて、地元宝塚市長による歓迎のお言葉と、本業である小児科医であられるお立場から今の子どもたちの未来を考えて、今の子育てを育ちを見つめ直す時であるとご教授下さいました。

兵庫県私立幼稚園PTA連合会副会長岩本朗子様(宝塚厚生幼稚園保護者)による大会宣言を声高々に堂々と宣言。顧問である兵庫県私立幼稚園協会山中理事長により閉会のことばで第一部を終了しました。

第二部講演会前には、再び「SORA」による『いのちの名前』を披露。

素敵な歌声の余韻のままに、第二部として公益社団法人小さないのちのドア代表永原郁子様により基調講演『いのちの輝き』がはじまりました。

1993年神戸市北区ひよどり台にてマナ助産院を開業され、これまでに2千人以上の出産に立ち会われました。2000年に性教育グループ「いのちの語り部」を立ち上げ、年間150カ所で講演。また、2018年より良きせぬ妊娠で悩む女性のための「小さないのちのドア」をスタート。妊娠に困っている人を救い、0歳児



岩本 PTA副会長



講師 永原様

死亡率を軽減するという志のもと、24時間体制で相談に応じておられます。

日々小中高校生への活動に尽力する中、幼児期の子どもたち向けの「いのちのきょうしつ」も精力的に実施し、先生自らがパペットを使いながら子どもたちにわかりやすく映像を駆使して解説されています。

日本を含めた7カ国の満13～29歳の若者を対象とした意識調査(平成25年度)の結果では日本の子育てがうまくいっていないことが分かります。また、子どものチャレンジ精神ランキングでは47都道府県中兵庫県は42位と低い数字でした。親や学校の先生を尊敬できる日本にしたい、私のお母さん最高！ぼくのお父さん最高！この家の子で良かった！と思える子育てをしていただきたい、そのためには生きることは楽しい！子どもが失敗した時にかける言葉を大切にし失敗を活かす子育て、比較をしない子育てを心掛ける必要があると説かれました。

また、家族で楽しい思い出作りを沢山して、夫婦喧嘩はできれば感情的にならずを心掛ける。夫婦喧嘩の影響は大きく、身体的よりも言葉の影響の方が大きく前頭前野が委縮することが科学的に証明されている。楽しい経験を心のストックにおけるようにと説かれました。

そして性教育として、赤ちゃんには2つの手法①産道を通る②手術によってがあること、その上で人にはプライベートゾーン(下着をつけているところと唇)は赤ちゃんが生まれる元になっているところなので大切に扱うことを教えるそうです。更には、性被害防止のお話もします。

私たちの体には60兆個の細胞で出来ており、一つの細胞には世界大百科事典3千冊もの遺伝情報が書き込まれている。それらの遺伝子の上 ONになっているのはわずかに5%と言われ、どうすればOFFのスイッ

チをONにできるのか？筑波大学名誉教授村上和雄様曰く「笑顔」「感謝」「祈り(人のための)」この3つがポイントであるとのことでした。

あなたの命には意味があり自分の「いいところ」を誰かが「喜ぶ」ために役立てること。自分のいいところ探しをしてみる、お友だちを大切にすることの意味を伝える。自分と友だちは違うが助け合って生きていこう！と伝えていく大切さを説かれました。

最後に、子育てを頑張っているママたちへの子育て応援メッセージ。

- ①子育てで親が「あ～しんどいなあ」と思う時は“子どもが生き生き”としている時。親がうまくいっていると思っている時は“子どもが我慢”をしている時かもしれません。
- ②子育てに行き詰った時子どもに変化を求めても無理です。“あなたがちょっとだけ変わるだけ”で状況は大きく変わります。
- ③子どもは親にいろいろしてもらっても当たり前と思っています。“見返りを子どもに求めない”ことです。命の主である神様があなたの子育ての苦勞を一番よくわかってくださり、“天にその報い(ごほうび)”を用意してくださっています。

その後あたたかい拍手の中講演は終了。その後パイプオルガン奏者池田伊津美様による幻想的なパイプオルガンの音色が永原先生の講演の余韻と合間って、何とも言えない心地の良い空間となり、まるで子育てでがんばり悩み苦勞し日々努力する保護者へ神様がエールを贈っているような感覚でした。

最後に副会長で兵庫県私立幼稚園貴田副理事長により閉会のことばを述べられ無事に終了しました。ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げますと共に、今後のPTA連合会の活動もご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い致します。



パイプオルガン奏者 池田様